本庄保存書庫の改修について

図書館では、全学的な書庫狭隘化に伴い、シェアードプリントも視野に入れて電子媒体で利用可能な外国雑誌を中心に本庄保存書庫への別置を行ってきたが、その収蔵能力の限界を迎えていた。

幸い、本庄高等学院30周年記念教育環境整備・充実事業に伴う本庄高等学院図書室の移転を機に、本庄保存書庫2階の旧図書室スペースの復旧・整備を行うことが出来た。

具体的には、固定書架から集密書架（手動）への復旧と、旧閲覧スペースへの固定書架設置、並びに、除湿・空調設備の整備である。

書架部分の詳細は、右記の通りである。

新設固定書架
　延 270 連（棚板数 1,620 段）約 48,600 冊
既存固定書架空きエリア
　延 52 連（棚板数 312 段）約 9,300 冊
集密書架復旧エリア
　延 264 連（棚板数 1,582 段）約 47,400 冊

2015年度の整備により、新たに約10万冊余の収蔵能力を確保し、既に、高田早苗記念研究図書館等の資料約10,000冊の別置が完了している。

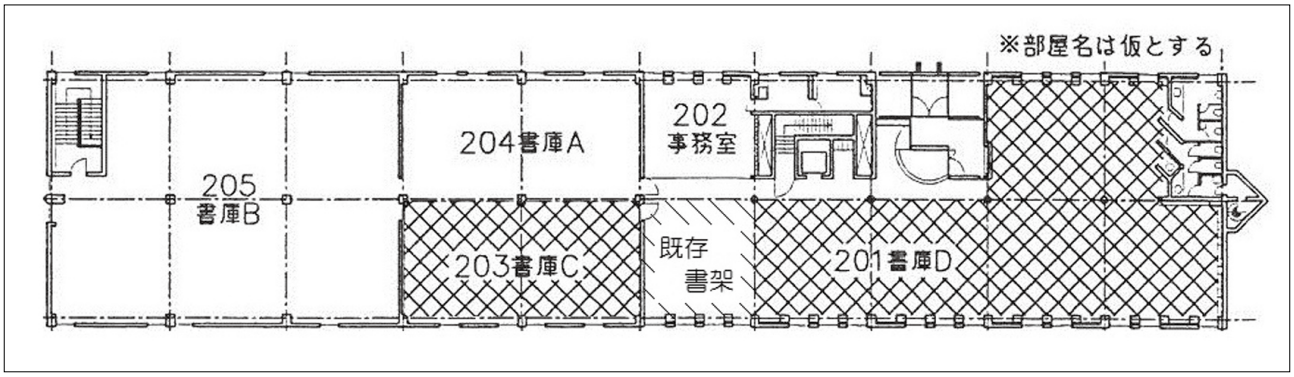
また、併せて、資料の出納・管理について2016年度に委託化を図り運用される予定である。



新設固定書架エリア（201書庫D）



集密書架復旧エリア（203書庫C）



本庄保存書庫 2階平面図